

訓練山行「霧ヶ峰で地図読み訓練」

2022年7月30日(土)

<山名・標高> 車山 1925m ゼブラ山 1776m

7月14日の机上学習で「地形図の読み方とコンパスの使い方」を学習した。それを受けて、今回は「地形図とコンパスを使ってルートナビゲーションする」実技学習。

花の時期の週末で混雑が予想されたので小型バスを利用。案の定、車山肩の駐車場は混んでいたが駐車場所を探す必要がないのでスムーズに下車。まずは周辺の柵をしてある場所でいろいろな花を観察した。30年くらい前に子ども達を連れてきた頃には柵などは無くニッコウキスゲで全山黄色になっていたが、今は昔。柵をしなくても咲く花は鹿などの動物が食べない花ばかりになってしまった。

さて、今日は地図読み学習。1グループ3～4人の5つのグループに分かれてまずは車山山頂を目指す。今日のチェックポイントは8ヶ所。

- ①車山肩 進行方向確認 地形確認
- ②車山山頂（ピーク） 三角点確認
- ③交差点 各登山道の確認
- ④殿城山分岐 登山道確認 蝶々深山山座同定
- ⑤山彦尾根鞍部 地形確認
- ⑥北の耳（ピーク） 登山道確認
- ⑦進行方向変化 登山道確認
- ⑧ゼブラ山（ピーク） 登山道確認 鷲ヶ峰山座同定



車山山頂に向かう途中で現在地確認



車山山頂の三角点タッチ

さっそく、グループごとに正置したりコンパスで方向を確認したりしてグループごとに進んだ。車山まではほぼ同じペースで進んだが、その後は各グループごとにペースが違い、ゼブラ山で合流。これまで歩いたルートや霧ヶ峰の全ぼうを眺めながらの昼食休憩となった。



⇐ 次のピークや手前の鞍部が目視できる。地図でもその都度確認した。



ピークで登山道の確認や山座同定をしている。



ゼブラ山山頂にて

ここで地図読み学習は終了となり、柵で守られた八島湿原の植物を楽しみながら歩いた。車山や八島湿原は多くの人で賑わっていたが、山彦尾根とゼブラ山は人が少なくのんびり歩くことができた。



八島湿原①

ハナチダケサシとシモツケの
群生

八島湿原②
シシウド



八島湿原③

ヤナギラン